

第18回

日本在宅ケア学会 学術集会

多職種で共に考え、支えるエンド・オブ・ライフケア
—その人の最善とは何かを語り合おう—



学会活動推進委員会 第2回公開講座

エンド・オブ・ライフケア - 市民と専門家との協働・連携 -

講演 1

テーマ：エンド・オブ・ライフケアを地域で効果的に進めるための多職種連携のあり方
講師：福井 小紀子 (日本赤十字看護大学)

講演 2

テーマ：市民と専門家との対話を促進するエンド・オブ・ライフケアモデルの提案 (仮)
講師：増島 麻里子 (千葉大学)

会長講演

看護実践に生かすエンド・オブ・ライフケア (仮)
長江 弘子 (千葉大学)

教育講演

講演 1

テーマ：新しい地域ケアのかたち：看護と介護のトータルケア (仮)
講師：堀田 聡子 (労働政策研究・研究機構)

講演 2

テーマ：生活の場での協働/専門職性
講師：三井 さよ (法政大学)

講演 3

テーマ：エンド・オブ・ライフケアチームによる意思決定支援の試み
講師：横江 由理子 (国立長寿医療研究センター)

シンポジウム

- I. 在宅ケアと臨床倫理：認知症とエンド・オブ・ライフケア
- II. 「その人の生き方」を支えるチームアプローチ

特別講演

自分らしく、歌とともに

冴木 杏奈 (タンゴ歌手・女優)

市民公開プログラム

映画上映「わたし」の人生～我が命のタンゴ～

交流集会

1. 地域で活動する専門看護師・認定看護師の集い
2. 医療と介護の連携推進に向けた政策的動向と各地域の取組み
在宅医療連携拠点事業を発端として
3. 訪問看護ステーションにおける継続教育の機能向上

学会HP <http://procomu.jp/zcare2014/>

会 期

2014年3月15日(土)・16日(日)

会 場

一橋大学一橋講堂 学術総合センター (東京：神保町)

会 長

長江 弘子 千葉大学大学院看護学研究科 エンド・オブ・ライフケア看護学

参加費用

会 員：(事前) 8,000円 (当日) 9,000円
非会員：(事前) 9,000円 (当日) 10,000円 学生(院生除く)：(事前・当日) 4,000円

演題募集期間

2013年8月12日(月)～9月30日(月)

〈第18回 日本在宅ケア学会学術集会事務局〉

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1 TEL・FAX：043-226-2777/-2782
千葉大学大学院看護学研究科 エンド・オブ・ライフケア看護学 e-mail:elcn@chiba-u.jp

〈共 催〉

千葉大学大学院看護学研究科エンド・オブ・ライフケア看護学
公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

